

生物多様性条約 SBSTTA23 生物多様性と気候変動について

日本国際湿地保全連合
長倉恵美子



議題4 生物多様性と気候変動

- CBD/SBSTTA23/3 (Official)
 - Biodiversity and climate change
- CBD/SBSTTA/23/INF/1 (Information)
 - Review of new scientific and technical information on biodiversity and climate change and potential implications for the work of the Convention on Biological Diversity

<https://www.cbd.int/meetings/SBSTTA-23>

SBSTTA23における議論等

- UNFCCCの科学上及び技術上の助言に関する補助機関（SBSTA）議長からのメッセージ
 - CBDとUNFCCCの関係強化が重要
 - 気候変動が生物多様性に及ぼす影響、自然を基盤とした解決策（NbS: Nature-based Solutions）、潜在的な対立について十分に情報を得ることが必要
- 各国や参加者の生物多様性と気候変動への注目

SBSTTA23における議論等

- 多くの国が気候変動と生物多様性の損失に対処するための国家としての取組みの概要を説明
- 多くの国が以下の必要性を強調
 - 統合的な方法で生物多様性と気候変動へ対処
 - UNFCCC、UNCCDと生物多様性関連条約の相乗効果の強化
 - 防災・減災、気候変動の緩和・適応に対する自然を基盤とした解決策（NbS）の適用

SBSTTA23における議論等

- 気候変動への適応および防災・減災のための生態系に基づくアプローチの任意ガイドライン（COP14で採択）の強調
- ユース、女性、先住民族と地域コミュニティの重要性
- 生態系の回復、能力開発、持続可能なインフラ等への資金の必要性
- 今後のOEWG、SBIにおいて気候変動、生態系を活用した気候変動への適応策に関してポスト愛知目標の目標、指標への反映を検討

関連サイドイベント

- タイトル

Achieving Biodiversity Targets through Nature-based Solutions for Disaster Risk Reduction and Adaptation

- 日時 11月26日 13:15～

- 話題提供

UNEP WCMC、IUCN、
日本、ラムサール条約
事務局、ハイチ、
Wetlands International



世界湿地の日記念シンポジウム

- テーマ 湿地と生物多様性
- 日時 2020年2月1日（土） 14:00～17:00
- 場所 国連大学アネックススペース
- 主催
 - 日本国際湿地保全連合
 - 国連大学サステイナビリティ
高等研究所
 - 地球環境パートナーシッププラザ
- 事例（予定）
里山イニシアティブ、
湿地のモニタリングなど

**World
Wetlands Day**
2 February 2020



Wetlands and
biodiversity